

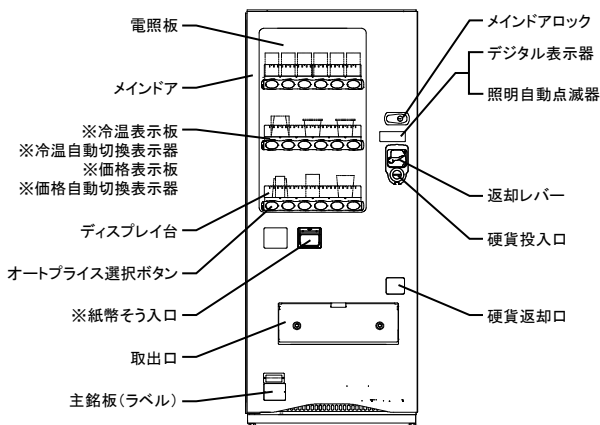
1. ご使用の前に

1.1 各部の名称

(1) 外部の名称

※印はオプションです。

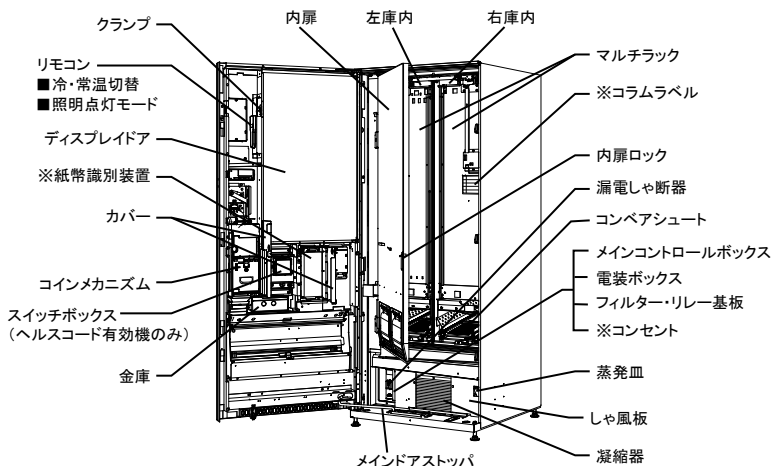
※製品により取りつかない場合があります。



図は18卸仕様の外形をあらわします。

セクション数等の仕様により、一部図と異なる場合があります。

(2) 内部の名称



図は10セクションの内部をあらわします。

庫内の仕様・本体幅等により、一部図と異なる場合があります。

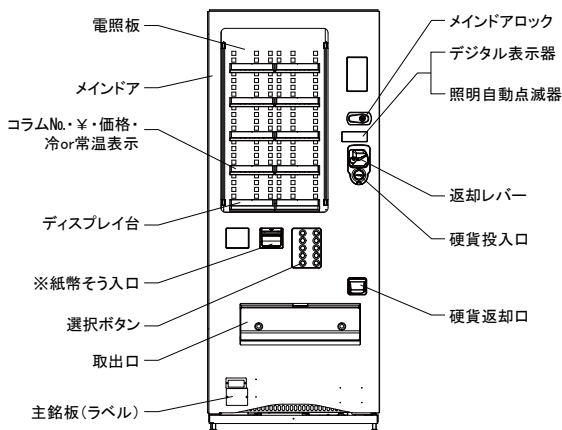
1. ご使用の前に

1.1 各部の名称

(1) 外部の名称

※印はオプションです。

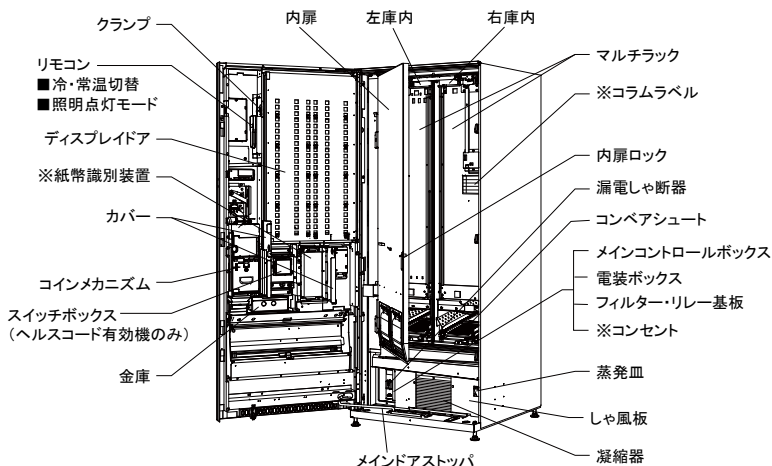
※製品により取りつかない場合があります。



図は10卸仕様の外形をあらわします。

セクション数等の仕様により、一部図と異なる場合があります。

(2) 内部の名称



図は10セクションの内部をあらわします。

庫内の仕様・本体幅等により、一部図と異なる場合があります。

1.2 ディスプレイドアの開閉

※製品によりディスプレイドアがない場合があります。

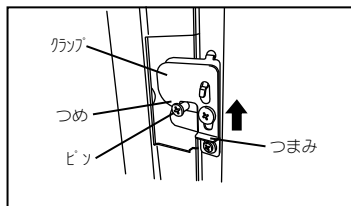
■ クランプの場合

(1) クランプ

クランプのつまみを上げて、ピンからつまめをはずし、ディスプレイドアを開けてください。

(2) ディスプレイドアの開じかた

クランプのつまみを下げて、ピンにつめがかかっていることを確認してドアを確実に閉じてください。



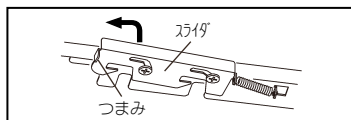
■ スライダの場合

(1) スライダ

つまみを持って、スライダを左側に押しながら固定金からつまめをはずしてください。

(2) ディスプレイドアの開じかた

上記の逆順でドアを確実に閉じてください。



1.3 カバーの開閉

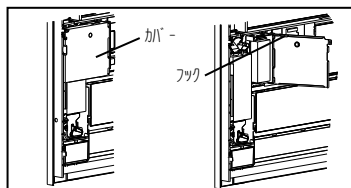
※製品によりカバーがない場合や、カバーの形状・位置が異なる場合があります。

(1) カバーの開けかた

カバーを持ち上げて、フックをはずし、開けてください。

(2) カバーの開じかた

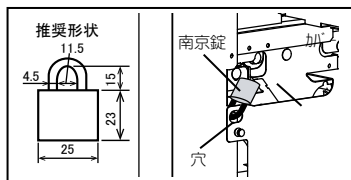
閉じかたは上記の逆順でおこなってください。
フックは確実に引っかけてください。



(3) 南京錠の取付けかた

南京錠を取り付ける場合は、カバーと扉の穴に合わせ取り付けてください。

【!】紙幣識別装置へは、南京錠は取り付けできません。



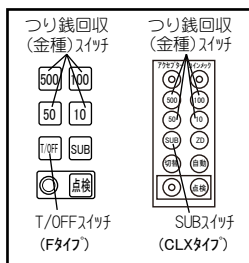
1.4 コインメカニズムについて

(1) つり銭の回収方法

■ つり銭回収スイッチで回収する場合

チューブつり銭回収スイッチは、インベントリースイッチ内にあります。このスイッチを押して、つり銭を回収してください。

- ① チューブの金種と同じ金種スイッチを押すと、そのチューブ払出し動作になります。「SUB」スイッチを押すと、サブチューブの払出し動作になります。
払出しを中止するときは、払出し動作中に「T/OFF」スイッチ（Fタイフ）を押してください。
CLXタイプはいずれかのつり銭回収スイッチを押してください。

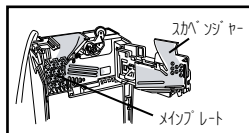


(2) 清掃のしかた

■ 清掃箇所

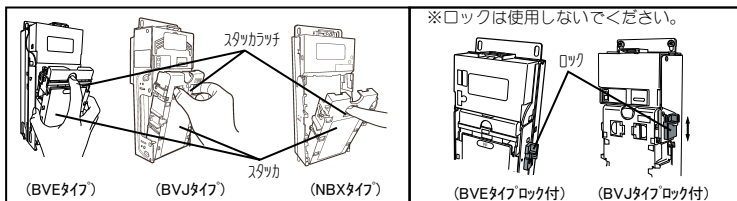
清掃時、つぎの箇所（網かけ部分）を清掃してください。

- ・メインプレートの硬貨通路面
- ・スカベンジャーの硬貨通路面



1.5 お札の取出し方法（オプション）

- ① B V J ・ B V E タイプのロック付は、ロックを下げてください。
- ② スタッカラッチを操作し、スタッカを引き出してお札を取出してください。
- ③ スタッカを戻すときは、「カチッ」と音がするところまで押し込んでください。
- ④ B V J ・ B V E タイプのロック付は、ロックを上げてください。



※ロックは使用しないでください。

2. 販売の前に

2.1 電源を入れる

専用のコンセントに電源プラグを差し込み、本体下部の電源スイッチをONにした後、つぎの設定をおこなってください。

(1) 照明点灯モードを設定する。

メインドア内側に取付けのリモコンの  を操作して照明の点灯モードを設定します。

⇒省エネ節電時間帯も設定できます。

詳しくは「リモコンシステム操作の手引き」をごらんください。

キー種類	照 明
LED点灯	
ON点灯	常時点灯
AUTO点灯	照明自動点滅器と タイマーに連動します
ON, AUTO消灯(OFF状態)	常時消灯

[!] 各設定が終了したら、リモコン・コードは元の位置に戻してください。

リモコン・コードは、取出口へたれると、販売時に商品詰まりやイタズラを受ける場合があります。

(2) 各種データの初期設定をする。

(1) 標準データでご使用になる場合は、データの初期設定は不要です。この自動販売機は、工場出荷時において各種標準データを設定済みです。

(2) 標準データを変更される場合は、「リモコンシステム操作の手引き」をごらんになり、データの確認・設定をしてください。

(3) 販売商品の確認（内扉のラベル参照）

[!] 販売可能商品として指定された商品以外は収納しないでください。変形や液もれしている商品は収納しないでください。指定外の商品を収納すると、故障の原因になります。

(4) 商品をつめる。

① 商品はコラムラベルを見ながら商品名および容量を間違えないように入れてください。

② びんまたはペット商品は、キャップを左側にして水平に一本ずつ入れてください。

[!] ラック以外の場所に商品を置かないでください。

[!] 商品を入れたあとすぐに販売するときや、多量に販売するときは、あらかじめ冷えた（温めた）商品を入れてください。

2.2 ラックの設定

販売する商品により設定が必要です。

設定の方法は、内扉のラベルをごらんください。


3. 販売商品を変更する

ここでは、販売商品を変更するときにしていただく作業について説明します。はじめに変更する商品がどのコラムと選択ボタンに設定されているか、内扉のラベルをざらんに確認してください。

3.1 ラック内の商品を取り出す

【!】 ラック内の商品を取り出すときは、必ず商品収容用の容器に取り出してください。
手で受け取るとけがの恐れがあります。

販売商品コラムが決まったら、リモコンを操作してそのコラムのラック内に残っている商品を全て取り出します。

① あらかじめ商品収容用の容器を用意し、メインドア内側にあるリモコンの **モード**  の位置を確認してください。

② 連続テスト販売または高速連続テスト販売をおこない、ラック内の商品を取り出します。

■ 自動開閉式の取出口扉の場合

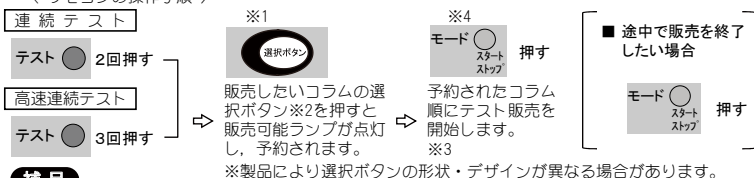
自動開閉式の取出口扉は、テストモードにすると取出口扉が開きます。

【!】 扉を開いて商品を払い出す際は、取出口扉を手で閉めてください。

通行人のけがや車両による人身事故の原因になります。

⇒ テスト販売のしかた各設定スイッチの位置は、別冊の「リモコンシステム操作の手引き」をざら確認ください。

くリモコンの操作手順



補足

- ※1. 点灯している選択ボタンを押すと、ランプが消えて予約が解除されます。
- ※2. 製品により選択ボタンの形状が異なる場合があります。
- ※3. 予約コラムの販売が売切れになると停止します。
- ※4. 複数のコラムを予約した場合、再度スタートボタンを押すとつぎのコラムのテスト販売を開始します。
- ※5. 自動開閉式の取出口扉は、テストモードにすると取出口扉が開きます。テストモードを終了すると取出口扉が閉まります。

3.2 ラックを調整する

【!】 1. ラックの調整は確実にこなしてください。不十分な場合、故障の原因になります。

2. 間違った調整による故障の修理は有料となりますのでご注意ください。

販売する商品の長さや太さによって商品の投入口や出口の調整が必要です。

■ マルチラックの場合

販売する商品の大きさによってコラム幅や棚ピッチの調整が必要です。

■ 直積ラックの場合

販売する商品の大きさによってアジャスターの調整が必要です。

ラックの調整をおこなう場合は、内扉のラベルをざらんに確認してください。

ラック内に商品を補充後、1本目の商品の払い出し確認をおこない、販売商品と一致していることを確認してください。

3.3 コラムラベルの商品名を変更する

3.4 ディスプレイ商品と表示価格を変更する

ディスプレイドアを開いて、ディスプレイ商品を変更してください。

また、必要に応じ価格ラベルを使って表示価格の変更をしてください。

■ ハッチドアの場合

ハッチドア、メインドアの順に開いて、ディスプレイ商品を変更してください。

また、必要に応じ価格ラベルを使って表示価格の変更をしてください。

3.5 価格設定を変更する


価格設定の変更はリモコンでおこないます。

- ① メインドア内側に取付けのリモコンを取り出し、下記の例に従って価格設定の変更をしてください。

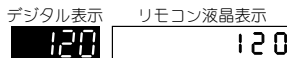
例) 商品の販売価格を120円から150円に変更するときの操作要領を示します。

選択ボタンと商品投入口の配列は内扉のラベルをご覧ください。

▲アップまたは ▼ダウン を押して、希望する価格を最高9,990円まで設定できます。

- (1)  **価格設定** を押す。

販売価格の設定項目になります。最初に価格 120円を表示します。




- (2) ▲アップ (▼ダウン) を押す。

価格を変更します。押し続けると速く変わります。

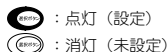
(例 150:販売価格 150円)




- (3)  **選択ボタン** を押す。

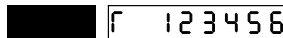
販売可能ランプが点灯している選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯し、対応するコラムが現在表示の価格に設定されます。

※製品により選択ボタンの形状・デザインが異なる場合があります。




- (4)  **終了** を押す。

待機状態に戻ります。



- (5) 価格設定の変更が終わりましたら、価格表示器の表示を確認してください。
また、必要に応じ価格ラベルを使って表示価格の変更をしてください。
※製品により、価格表示は自動表示方式とラベルの貼付け方法があります。

補足

- 現在の内容を確認するときは、手順3を飛ばしてください。
- 手順3で複数の  を押すと同一価格に設定することができます。
- 続けて別の価格に設定するときは、手順2、3を繰り返してください。
- 表示内容と設定範囲は、0～9,990円、10円単位です。
- ベアコラム販売設定のときは、奇数番号コラムの価格設定となります。
(※ベアコラム販売機能付機のみ)

4. 冷却・加温の切替え

ここでは、庫内を冷却または加温に切替える方法を説明します。

4.1 冷却・加温の切替え

製品により庫内の組み合わせ、冷却専用の位置が異なります。

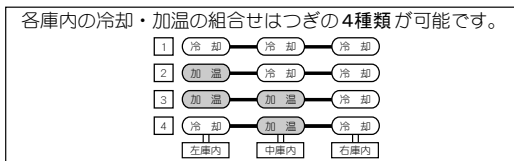
※庫内の組み合わせは一例です。

※各庫内の冷却・加温の組み合わせは自動販売機内部のラベルをご覧ください。

■ 右庫内が冷却専用の場合(左庫内, 中庫内, 右庫内)

〈切替方法〉

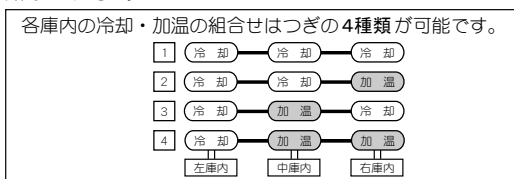
- ・ 右庫内は冷却専用です。
- ・ 左庫内, 中庫内の冷却・加温の切替えは、メインドア内側に取付けてあるリモコンの冷温切替スイッチを操作してください。



■ 左庫内が冷却専用の場合(左庫内, 中庫内, 右庫内)

〈切替方法〉

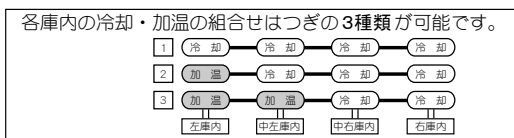
- ・ 左庫内は冷却専用です。
- ・ 中庫内, 右庫内の冷却・加温の切替えは、メインドア内側に取付けてあるリモコンの冷温切替スイッチを操作してください。



■ 右庫内が冷却専用の場合(左庫内, 中左庫内, 中右庫内, 右庫内)

〈切替方法〉

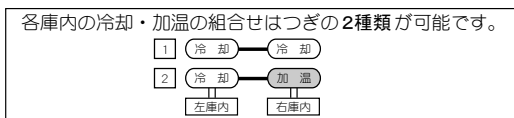
- ・ 右庫内は冷却専用です。
- ・ 左庫内, 中左庫内, 中右庫内の冷却・加温の切替えは、メインドア内側に取付けてあるリモコンの冷温切替スイッチを操作してください。



■ 左庫内が冷却専用の場合(左庫内, 右庫内)

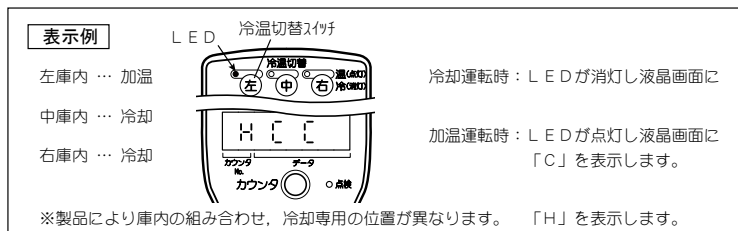
〈切替方法〉

- ・ 左庫内は冷却専用です。
- ・ 右庫内の冷却・加温の切替えは、メインドア内側に取付けてあるリモコンの冷温切替スイッチを操作してください。



4.2 冷温切替スイッチの操作のしかた

- ① リモコンのいずれかの庫内の冷温切替スイッチを2秒以上押したあと、切替えたい庫内の冷温切替スイッチを押すことで、冷却・加温運転が切替わります。
※冷却専用庫内は、冷温切替スイッチを押しても運転モードは切替わりません。
- ② 10秒以上無操作、またはモードキーを押すことで、冷却・加温切替えモードが終了します。
- ③ 切替操作が終わったら、リモコンを元の位置に確実に取付けてください。



4.3 常温設定のしかた

■ 缶・物品自動販売機の場合

製品により庫内の組み合わせ、常温設定の位置が異なります。

※製品により常温設定機能はありません。

※各庫内の冷却・加温・常温の組み合わせは自動販売機内部のラベルをご覧ください。

常温設定はリモコンで行います。

モード「e-07」にて各庫内の設定を行います。

0：常温設定解除（冷温設定）

1：常温設定

リモコン表示 部屋数	C 1	C 2	C 3	C 4
2室	左庫内	右庫内		
3室	左庫内	中庫内	右庫内	
4室	左庫内	中左庫内	中右庫内	右庫内

※塗りつぶした庫内は設定しないでください。

4.4 冷温表示の変更

※製品により、冷温表示は自動表示方式と、差し込み・回転方式があります。

4.4.1 冷温自動表示器を搭載していない場合（差し込み・回転方式）

冷却・加温の切替えが終わりましたら、冷温表示板の表示を変更してください。

- ① ディスプレイドアを開けてください。
- ② 変更する冷温表示板を差し替えるか、まわして、扉を確実に閉めてください。

■ ハッチドアの場合

- ① ハッチドア、メインドアの順に開けてください。
- ② 変更する冷温表示板を差し替えるか、まわして、扉を確実に閉めてください。

4.4.2 冷温自動表示器を搭載している場合

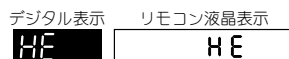
冷却・加温の切替えが終わりましたら、冷温価格表示器の表示を確認してください。

4.5 ヘルスコードの設定・解除方法

■ ヘルスコード機能がある場合

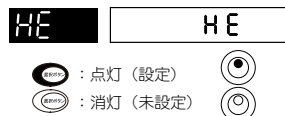
- 1  を5回押す。


ヘルスコード有効コラムの設定項目になります。
ヘルスコード有効コラムの販売可能ランプが点灯します。



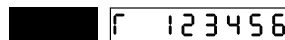
- 2  を押す。

ヘルスコード有効コラムに設定したいコラムの選択ボタンを押すと、販売可能ランプが点灯します。
ヘルスコード有効を解除したいコラムの選択ボタンを押すと、販売可能ランプが消灯します。



- 3  を押す。

待機状態に戻ります。



- [!] ヘルスコード機能がない機種は、設定をしないでください。
設定しても温度管理機能が動きません。
- [!] 温度管理機能が必要な商品を販売するときは、解除しないでください。

5. ポスタパネル

ここでは、電装ボックスの開閉方法、ポスタパネルの取り外し・取り付け等の方法を説明します。

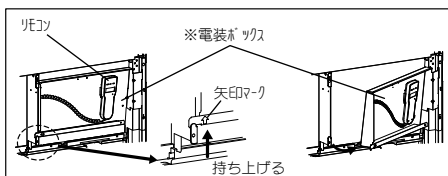
5.1 ポスタパネルの取り外しかたと取り付けかた

■ 電装ボックスがある場合

(1) 電装ボックスの開けかた

電装ボックスの左下側にある矢印マークの下側を持ち上げて、開けてください。

※製品により、電装ボックスがない場合があります。



(2) ポスタパネルの取り外しかた

※製品により、ポスタは鉄板とフィルムの場合や取り付いていない場合があります。

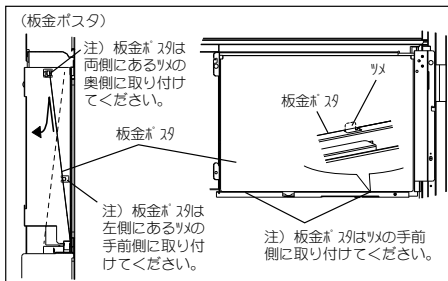
■ 板金ポスタの場合

板金ポスタを少し持ち上げて下側を手前側に引きながら取り外してください。

■ フィルムポスタの場合

① バックアップシートをだわませて上方の差し込み(左右)を外し、上部を少し手前に倒し持ち上げて下方の差し込みを抜いて取り外してください。

② ポスタをだわませて上方の差し込みを外して取り外してください。



(3) ポスタパネルの取り付けかた

取り付けかたは、右図の注)を確認いただき上記の逆順でおこなってください。

■ 電装ボックスがある場合

(4) 電装ボックスの閉じかた

ポスタの取り付けが終了したら、電装ボックスを確実に上記の逆順で閉めてください。

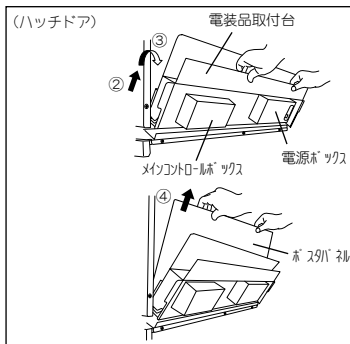
■ ハッチドアの場合

① ハッチドア、メインドアの順に扉を開けてください。

② 電装品取付台を両手で持ち、手前に引きながら持ち上げてください。

③ 手前に倒してください。

④ ポスタパネルを両手で引き出して交換してください。



富士電機自動販売機

1. 商品の充てん

- ① ラック前面のとっ手を持ち上げて、ラック全体を手前に引き出してください。



ラックを引き出すときはゆっくり引き出し、自分のからだや内扉にぶつけないでください。
事故の原因になります。

- ② コラム扉を持ち上げ、回転させ開けます。

- ③ 商品をラックにつめてください。

※ コラムラベルを見ながら商品名および容量を間違えないように入れてください。

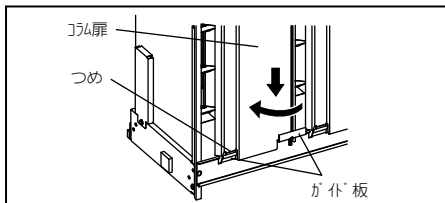
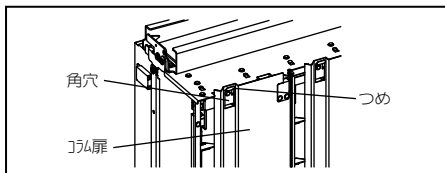
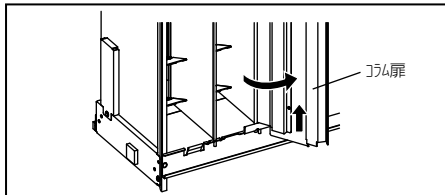
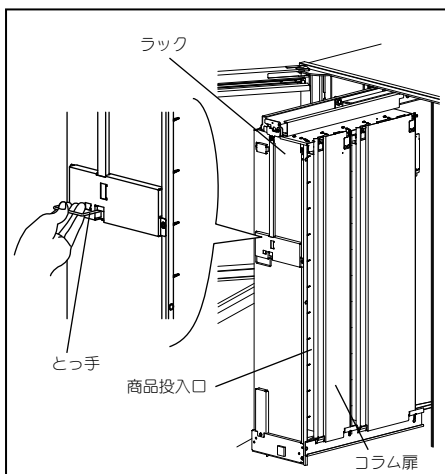
- ④ 商品をつめ終えたら、コラム扉を確実に閉めてください。

コラム扉の閉めかたは、コラム扉をラック本体側（開けたときと逆方向）へ回転させ、コラム扉の角穴をラック本体のつめに確実に引っ掛けてください。このとき、コラム扉の下部のつめがガイド板の内側に差し込まれていることを確認してください。

- ⑤ ラックを確実に収納してください。



コラム扉が確実に閉められていない場合、ラックが引き出せないなど故障の原因となりますのでご注意ください。



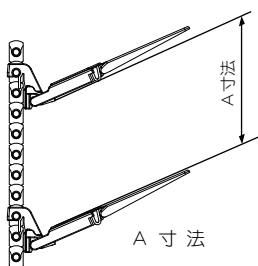
2. マルチラックの設定

(1) チェーンピッチ設定

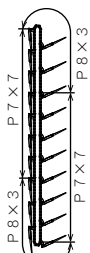
チェーンピッチ (リンク数)	A寸法 (mm)	収容数 (個/コラム)	棚設定 (指定ピッチ×棚数+端数ピッチ×棚数)	
			指定ピッチ×棚数	端数ピッチ×棚数
3(※)	24	22	P 3×46	P 4×2
4	36	17	P 4×34	P 5×2
5	48	14	P 5×28	P 6×1
6	59	11	P 6×22	P 7×2
7	71	10	P 7×14	P 8×6
8	83	8	P 8×16	P 9×2
9	94	7	P 9×14	P 10×2
10	106	7	P 10×8	P 11×6

※ ラックの型式「19MS5M-C」は設定しないでください。

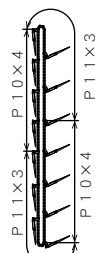
【!】販売トラブルの原因になります。



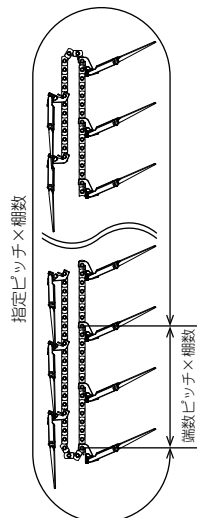
A 寸 法



7ピッチ

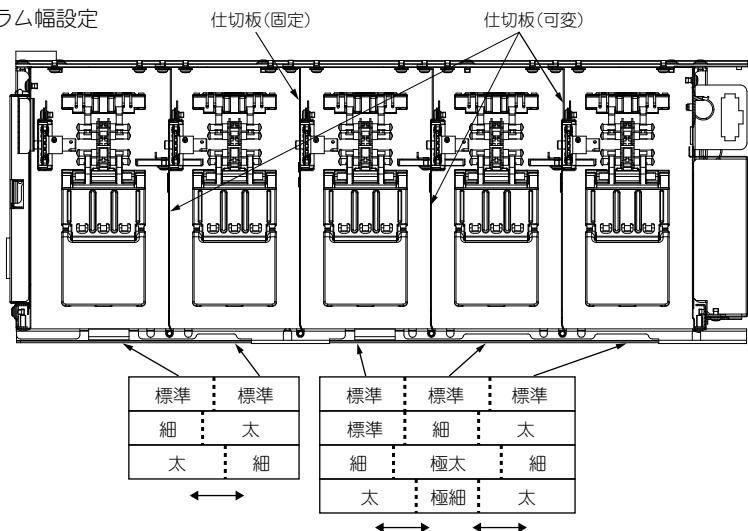


10ピッチ



7・10ピッチ以外

(2) コラム幅設定

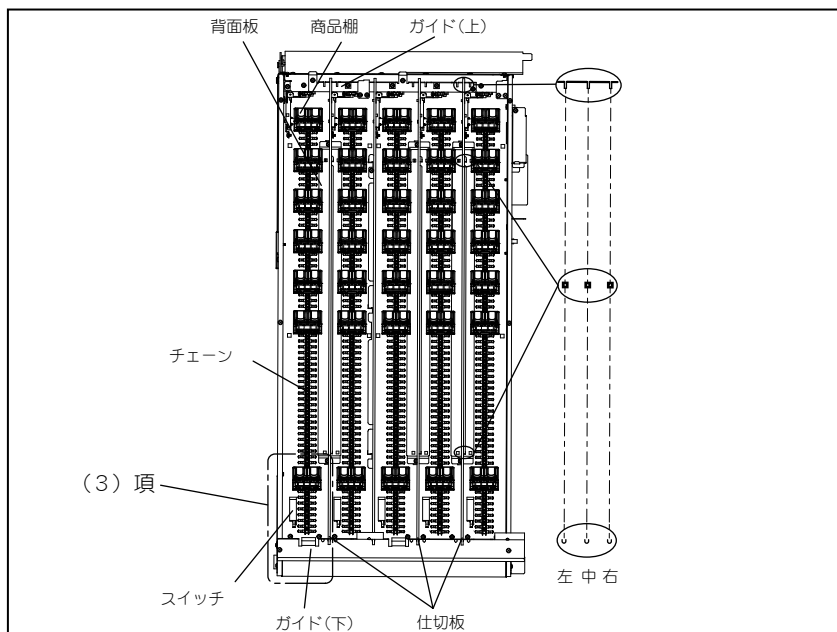


仕切板の設定を変更することでコラム幅を極細・細・標準・太・極太に設定できます。

3. 設定のしかた

(1) 各部の名称

マルチラックを商品収納側から見た時の各部品の名称を下图に示します。



(2) コラム幅の変更

商品のサイズに合わせて、仕切板の位置を変更してください。

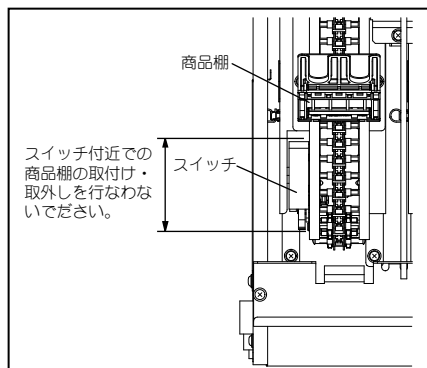
仕切板(可変)は3カ所(左・中・右)設定可能です。

変更後、仕切板(可変)のつめやカールが同一設定に取り付いているかご確認ください。

1カ所でも違う設定に取り付いていると販売トラブルの原因となります。

(3) 商品棚取付け・取外し時の注意

スイッチ付近での商品棚の取付け・取外しを行わないでください。スイッチに当たると故障の恐れがあります。



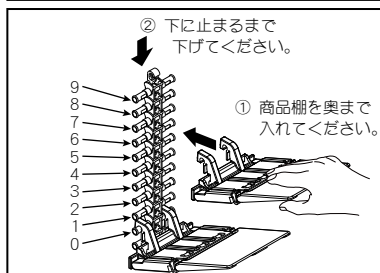
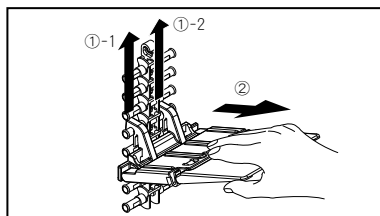
3. 設定のしかた

(4) 棚ピッチの変更

販売する商品の高さに合わせて商品棚のピッチを設定してください。

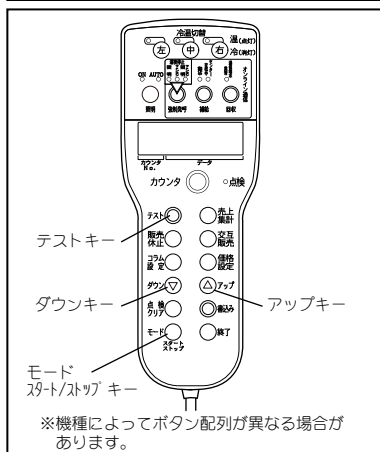
■ 商品棚ピッチの変更のしかた

- ① 一番上の商品棚から順番に全部の棚を外してください。
商品棚の奥側をつまんで片方ずつ引き上げてください。
- ② 引き上げた商品棚を手前に引いて取り外してください。
- ③ 商品棚を下から順に取り付けます。
商品棚を奥まで入れて商品棚のつめをチェーンのピンに確実に引っ掛けてください。
このとき棚が下に止まるまで下げてください。



- ④ リモコンのモード [b-23] を表示させた状態で選択ボタンを押すか、リモコンの [アップ/ダウン] キーで該当コラムを指定して、[スタート/ストップ] キーを押してください。
- ⑤ ①から④の作業を繰り返して、全ての棚を変更してください。
- ⑥ 商品棚の取付け作業が完了したら、リモコンの [テスト] キーを2回押して、デジタル表示器に「TST2」を表示させた状態で④同様、該当コラムを動作させます。
空送りをして正規待機位置に棚を止めてください。

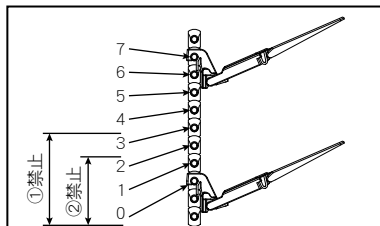
※ 商品棚ピッチを変更したときは、必ず⑥頂の空送りをおこなってください。
空送りをしないと、商品があっても「売切」となり、正常な販売ができません。



■ 商品棚ピッチの数えかた

商品棚の付いている所を0として数えます。
7ピッチの場合は、7番目に商品棚を取り付けます。

- ①ラックの型式「19MS5M-C」のとき
※ 3ピッチ以下、11ピッチ以上の取付けは絶対にしないでください。破損や故障の恐れがあります。
- ②ラックの型式「19MS5M-C」以外のとき
※ 2ピッチ以下、11ピッチ以上の取付けは絶対にしないでください。破損や故障の恐れがあります。



4. 販売商品別ラック設定

外形	箱物 	箱物 	箱物 	箱物 	箱物
※商品寸法は参考値です。					
①コラム設定	太	標準	太・極太	極細	細・標準
②チェーンピッチ	4	4	3	3	5
収容個数	17個	17個	22個	22個	14個
外形	箱物 	円筒形 	円筒形 	缶形 	缶形
※商品寸法は参考値です。					
①コラム設定	標準	細～極太	太・極太	細	極細
②チェーンピッチ	6	8	10	8	7
収容個数	11個	8個	7個	8個	10個
<p>[!] 設定をおこなうときは、①・②を必ず実施してください。</p> <p>[!] 上記記載の設定以外では、販売しないでください。故障やトラブルの原因となります。</p>					

マルチラックに商品をつめるときは、つぎの点にご注意ください。

- ① 商品は必ず一番下から順につめてください。
- ② 商品はもれのないようにつめてください。
- ③ 商品の質量・形状・種類によって、販売できない場合があります。
- ④ 商品が左右の壁に触れないようにつめてください。

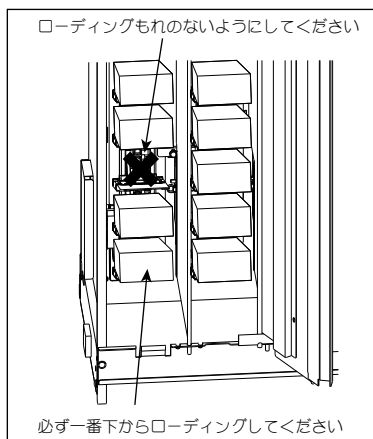
[!] 商品が安定した姿勢になるようにつめてください。

[!] 商品が左右の壁に触れないようにつめてください。

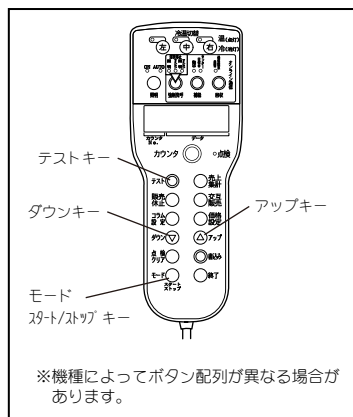
[!] 商品重量は1棚あたり350g以下、1コラムあたり3.7kg以下にしてください。



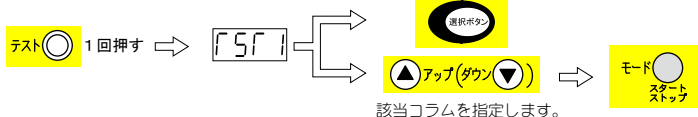
商品をつめるときは、チェーンエレベータのチェーン部に触れないでください。けがの恐れがあります。



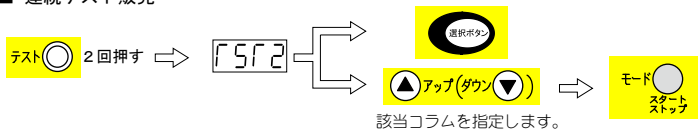
5. リモコンの操作



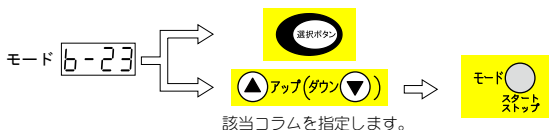
■ 単品テスト販売



■ 連続テスト販売

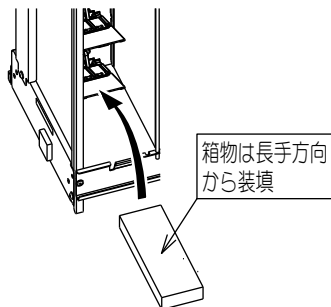


■ マルチラック棚交換販売

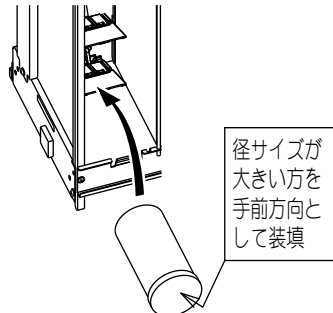


6. 商品のつめかた

① 箱物の場合



② 円筒形の場合



③ 円筒形の場合



④ 缶形の場合



富士電機自動販売機 リモコンシステム操作の手引き パック・マルチ編

このたびは弊社自動販売機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用になる前によくお読みいただき、正しい製品知識と取扱いにより末永くご愛用いただきます
ようお願い申し上げます。

モードキーの機能項目とデータ範囲

モードには、選択、タイマ、機種固有設定、釣銭合わせ、ルーレット、プリンタ、マルチ、保温の
8種類があり、それぞれモードには更に機能の操作項目番号があります。
モードの操作項目番号を入力して機能の設定や確認をします。

モード  キー
スタート
ストップ

デジタル/液晶 液晶表示器	項 目 内 容	データの範囲(備考)
選 択	1-01 コラムセレクトション配線パターン切換の 設定・確認	1：夏 2：冬 3：春 4：秋 99：出荷時パターン
	1-04 グループ集計コラムの設定・確認	任意コラム(1～10Gr)
	1-05 つづけ買い個数の設定・確認	0：無制限, 1～9個
	1-06 交互販売コラムの設定・確認	任意コラム(1～30Gr)
	1-09 満杯収容数の設定・確認	0～999個
	1-10 外部表示の設定・確認	0：表示しない 1：残数表示 2：補給数表示 3：累計売上個数表示 4：庫内温度表示
	1-11 割引対象個数／コラムの設定・確認	0：割引しない 1～9：1～9個, 任意コラム
	1-12 割引金額の設定・確認	0：割引しない 10～90：10～90円(10円単位)
	1-13 自動返金時間の設定・確認	0：無制限, 1～30秒
	1-14 フリーベンドの設定	0：フリーベンドしない 1：一括フリーベンドする
	1-15 過去故障の確認・クリア	最大16件
	1-16 補給数リセット操作	
	1-18 扉開閉日時の確認	過去15回分
	1-19 販売履歴の確認・クリア	過去100回販売時の「投入月日」 「投入時分」「投入金額」「販売金額」 「残金」「販売コラムNo」
	1-27 消音モードの設定・確認	0：実施しない 1：実施する

お読みになった後は、大切に保管してください。

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/レコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)
選 択	1-28	出荷時データへのプリセット操作	
	1-34	デジタル表示器のスクリーンセーバの設定・確認	0：スクリーンセーバ表示をしない 1～4：パターン1～4
	1-35	売切ランプ点灯原因の確認	4桁
	1-36	販売可能ランプ消灯原因の確認	4桁
	1-38	照明年間カレンダーの設定・確認	0：しない(無効) 1：する(有効)
	1-42	売行き確認モニタ機能の設定・確認	0：売行き確認モニタ機能を使用しない 1：売行き確認モニタ機能を使用する (絶不調コラムの販売は可能) 2：売行き確認モニタ機能を使用する (絶不調コラムの販売は不可)
	1-43	コラム別フリーベンドの設定・確認	任意コラム
	1-46	らくらく賞味期限 管理本数設定・確認	0～99個
	1-47	らくらく賞味期限 賞味期限期間設定・確認	0～180日
	1-48	らくらく賞味期限 販売停止の設定・確認	0：賞味期限切れ時に販売停止の設定をしない 1：賞味期限切れ時に販売停止の設定をする
タ イ マ	1-66	価格自動表示消灯設定（4桁価格対応）	0：消灯しない 1：消灯する
	2-01	スクールタイマ時間帯／コラムの設定・確認	0～23時， 0～59分 (A～Cパターンにつき各7回)
	2-02	スクールタイマ曜日別パターンの設定・確認	A～C(各曜日に対して) 0：パターン設定なし
	2-03	照明節電時間帯の設定・確認	0～23時， 0～59分
	2-05	現在時刻の設定・確認	0～23時， 0～59分
	2-06	現在月日の設定・確認	1～12月， 1～31日
	2-07	現在年の設定・確認	00～49(2000～2049)
	2-08	庫内ファンコントロールの設定・確認	0：連続運転 1：ファンコントロールする
	2-09	照明消灯条件の設定・確認	0：照明自動点滅器，タイマの少なくとも一方OFFで照明消灯 1：照明自動点滅器，タイマの両方ともOFFで照明消灯 2：照明自動点滅器 OFFで照明消灯 3：タイマOFFで照明消灯 4：照明自動点滅器ONで照明消灯 (暗くなったら照明消灯) 5：人感センサOFFで照明消灯
	2-10	ビルバリデータ禁止時間帯の設定・確認	0～23時
	2-11	照明消灯曜日の設定・確認	1～7(日～土) 設定曜日数：最大4
	2-12	割引時間帯の設定・確認	0～23時
	2-13	インベントリ禁止時間帯の設定・確認	0～23時
	2-15	調光時間帯の設定・確認	0～23時
	2-26	らくらく賞味期限 賞味期限間近表示の日数設定・確認	0～30日
	2-27	らくらく賞味期限 販売期間の日数設定・確認	0～180日

モードキーの機能項目とデータ範囲


デジタル/液晶表示器		項目内容	データの範囲(備考)
機種固有設定	3-01	2本売り防止スイッチ指定コラムの設定・確認	1～8 任意コラム
	3-06	オプションカウンタ仕様の設定・確認	0：カウンタなし 1：プライスカンタ/テストカウンタする 2：プライスカンタ/テストカウンタしない 3：グループ カンタ/テストカウンタする 4：グループ カンタ/テストカウンタしない 5：価格固定カウンタ (プライスカンタ/テストカウンタしない)
	3-07	庫内温度レベルの設定・確認	0～10(HOTは0～9)
	3-11	偽造コイン対応の設定・確認	0：しない 1～4：0～99枚
	3-12	構造モードの設定・確認	9桁
	3-14	売上データクリア操作切換モードの設定・確認	0：コラム別売上クリア操作不可 1：コラム別売上クリア操作可能
	3-15	通信速度の設定・確認	2：4800bps 3：9600bps 4：19.2kbps
	3-16	複数コラム割付の設定・確認	10グループ
	3-17	2コラム可能設定(1Lペット対応)の設定・確認	0：分割しない 1：分割する
	3-18	室外ファン逆転制御の設定・確認	0：室外ファン逆転制御しない 1：室外ファン逆転制御する
	3-19	選択ボタンイルミネーション表示速度の設定・確認	1～99(0.1秒)
	3-21	照明自動点滅器感度/ブザー音量の設定・確認	1桁目：照明自動点滅器感度 2桁目：ブザー音量
	3-23	選択ボタン連動の設定	32グループ
	3-24	寒冷地仕様の設定・確認	0：寒冷地仕様の制御を実施しない 1：寒冷地仕様の制御を実施する
	3-28	トータル/コラム別キーカウンタ売上個数の確認・クリア	0～999,999個
	3-29	グループ制御実行時間の設定・確認	0：グループ制御を実施しない 1～30：グループ制御を実施する時間 (単位：時間)
	3-30	扉開時の省エネ解除の設定・確認	0：扉開時の省エネ解除を実施しない 1：扉開時の省エネ解除を実施する
	3-31	冷却庫内ON/OFF温度の設定・確認	-9.0～70.0℃
	3-32	加温庫内ON/OFF温度の設定・確認	-9.0～70.0℃
	3-70	VTSビルバリ挿入枚数設定・確認	1～4枚
釣銭合わせ	4-01	釣銭合わせの確認・払出し動作 自動チューブ¥10～¥500 手動チューブ¥10～¥500	「0」：釣銭合わせ未設定 下2桁表示 「――」：増加チューブ有 4桁表示 「―――」：過不足なし 各金種表示：不足チューブ有 自動チューブ不足枚数：0～98 釣銭合わせなし：99 手動チューブ不足枚数：0～998 釣銭合わせなし：999
	4-02	釣銭合わせ枚数の設定・確認 自動チューブ¥10～¥500 手動チューブ¥10～¥500	【自動チューブ】 枚数設定：0～98 釣銭合わせなし：99 【手動チューブ】 枚数設定：0～998 釣銭合わせなし：999

モードキーの機能項目とデータ範囲

デジタル/リモコン 液晶表示器		項 目 内 容	データの範囲(備考)
釣 銭 合 わ せ	4-03	釣銭合わせモードの設定・確認	0：釣銭合わせしない 1：自動釣銭合わせモード (チューブインモード) 2：自動チューブ残量モード (チューブ残量モード)
ル ー レ ット	5-01	ルーレット当たり確率／コラムの設定・確認	0：当たりなし 1：1/2 (テストモード) 10～990：1/10～1/990 999：ルーレットなし
プ リ ン タ	7-01	プリンタ印字切換えの設定・確認	0：補給数印字しない 1：補給数印字する 2：特殊フォーマット(売切/売上/稼働)
	7-02	機種番号の設定・確認	8桁
	7-03	商品コードの設定・確認	6桁
	7-04	トータル売上のクリア操作	トータル売上個数・金額 ルーレット当たり個数・金額 テスト販売個数
	7-05	コラム別売上のクリア操作	コラム別売上個数・金額 コラム別ルーレット当たり個数 (プリンタ印字のみ有効)
マ ル チ	6-23	マルチラック棚交換テスト販売	
保 温	2-06	保温温度の設定・確認	庫内 1～4 10.0～30.0℃
	2-07	保温制御の設定・確認	庫内 1～4 0：保温制御しない 1：保温制御する

故障コードとその内容

故障が発生すると、リモコンの点検ランプが点滅します。点検ランプが点滅したときは、〔点検／クリア〕キーを押してください。
リモコンの液晶表示部と自動販売機メインドアにあるデジタル表示器に故障コードが表示されます。
故障の内容をつぎの表で確認して対処してください。

 異常時の点検・修理をするときは、必ずELBボックスの電源スイッチをOFFにして対処してください。

● 機種によっては、表示されない故障コードがあります。

故障コード一覧表

故障コード	故障内容	対処方法
30	セレクションリレーONせず セレクションリレーに信号を受信してもセレクションがONにならず、商品が販売されません。	搬出スレーブボックスまたは搬出リレーボックスを点検して、調子が悪いときは交換してください。 交換後、電源を再投入してください。
31	ベンドリレーONせず ベンドリレー（コモンリレー）に信号を送信してもベンドリレーがONにならず、商品が販売されません。	
32	ベンドリレーOFFせず ベンドリレー（コモンリレー）が溶着し、ON状態になったままです。	
34	選択ボタン故障 選択ボタンが押したままの状態になっています。	選択ボタンを点検し、交換してください。
37	搬出モータ回らず（チェーンラック他） 搬出モータが始動しません。	搬出スレーブボックスまたは搬出リレーボックスを点検して、調子が悪いときは交換してください。
38	搬出モータロック（チェーンラック他） 搬出モータがロックしています。	交換後、電源を再投入してください。
42	低温食衛異常 庫内温度が10℃以上となってから1時間以上経過し、ヘルスコードが発生しています。	ヘルスコード発生庫内の商品を入替後、マスタースイッチのヘルスコードボタンを押下 または、扉開閉をしてください。
50	時計データ異常 時計データが正しくありません。 （電源投入時、待機中）	現在時刻（年・月・日・時分）を再設定してください。
51	メモリデータ異常 停電時メモリデータのバックアップができません。	・設定データをチェックし、異常データがあれば再設定してください。 ・電池の電圧をチェックし、低いときは交換してください。
52	メカ指定モード未設定 搬出機構モードが全コラム未設定または正しく設定されていない。	搬出機構モードを正しく再設定してください。
54	選択ボタンクロス配線未設定 選択ボタンクロス配線の設定がされていない 選択ボタンがあります。	コラム－セレクション配線を正しく再設定してください。
60	通信ラインショート メインコントロールボックス側送信ラインが1秒以上「LOW」になります。	メインコントロールボックスを交換してください。 通信回復により自動復帰します。
62	搬出スレーブボード通信異常 搬出スレーブの交信が無応答または受信データ異常で正常に行われません。	ISS信号ライン（8Pカプ）と搬出スレーブの接続を点検し、尚異常がある場合は、搬出スレーブを交換してください。
67	リモコン部通信異常 リモコンの交信が無応答または受信データの異常で正常に行われません。	ISS信号ライン（5Pカプ）XA赤とリモコンの接続を点検し、尚異常がある場合はリモコンを交換してください。
1252	賞味期限切れ らくらく賞味期限で期限切れが発生しています。	賞味期限切れの商品をすべて払い出してください。

故障コード一覧表

	故障コード	故障内容	対処方法
商品搬出機構に関する異常	2433	待機位置異常 (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2434 ※1	待機位置異常 (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2435	販売モータ回らず (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。 ・本体スレーブを点検交換してください。
	2436 ※1	販売モータ回らず (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2437	販売モータロック (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2438 ※1	販売モータロック (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2439	販売モータロック (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	<ul style="list-style-type: none"> ・商品詰まりが発生していないか確認してください。 ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2440 ※1	販売モータロック (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2441	販売モータロック (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	<ul style="list-style-type: none"> ・商品詰まりが発生していないか確認してください。 ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2442 ※1	販売モータロック (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
制御ユニットに関する異常	2443	停止位置異常 (シングル販売時及び ペアコラム販売時の 奇数No.コラム側)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売復帰スイッチにて正常待機位置に復帰します。 ・ベンドメックを点検交換してください。
	2444 ※1	停止位置異常 (ペアコラム販売時偶 数No.コラム側)	
	2330	構造データ異常 構造データと接続ユニットが異なります。 ・接続ユニットとの通信が正常に行われま せん。 ・構造データと接続ユニットの組	<ul style="list-style-type: none"> ・本体スレーブと接続ユニットの接続を確認してくだ さい。 ・接続ユニットを点検交換してください。
	2331	ラック#1通信異常 左から1番目のラックの接続ユニットの通信 異常です。	<ul style="list-style-type: none"> ・本体スレーブと左から1番目のラック接続ユニット の接続を確認してください。 ・左から1番目のラック接続ユニットを点検交換して ください。
	2332	ラック#2通信異常 左から2番目のラックの接続ユニットの通信 異常です。	<ul style="list-style-type: none"> ・本体スレーブと左から2番目のラック接続ユニット の接続を確認してください。 ・左から2番目のラック接続ユニットを点検交換して ください。
	2333	ラック#3通信異常 左から3番目のラックの接続ユニットの通信 異常です。	<ul style="list-style-type: none"> ・本体スレーブと左から3番目のラック接続ユニット の接続を確認してください。 ・左から3番目のラック接続ユニットを点検交換して ください。

※1 ツインラック専用の故障コードです。

故障コード一覧表

	故障コード	故 障 内 容		対 処 方 法
制 御 ユ ニ ッ ト に 関 する 異 常	2334	ラック # 4 通信異常 左から 4 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。		・本体スレーブと左から 4 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 4 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
	2335	ラック # 5 通信異常 左から 5 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。		・本体スレーブと左から 5 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 5 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
	2336	ラック # 6 通信異常 左から 6 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。		・本体スレーブと左から 6 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 6 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
	2337	ラック # 7 通信異常 左から 7 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。		・本体スレーブと左から 7 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 7 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
	2338	ラック # 8 通信異常 左から 8 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。		・本体スレーブと左から 8 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 8 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
	2339	ラック # 9 通信異常 左から 9 番目のラックの接続ユニットの通信異常です。		・本体スレーブと左から 9 番目のラック接続ユニットの接続を確認してください。 ・左から 9 番目のラック接続ユニットを点検交換してください。
	2340	ラックユニット接続異常 ラックユニットのアドレスが重複・歯抜けになっています。		・ラックへの接続ケーブルの接続と配線を確認してください。 ・ラックユニットの接続ケーブルを確認してください。 ・接続ユニットを点検交換してください。
	2342	室外ファンモータロック 室外ファンモータがロックしています。		凝縮器用ファンモータロックの原因を取り除いてください。
	2352	構造モード異常 正しい構造モードが設定されていません。		正しい構造モードを設定してください。
	2448	搬出モータ異常 モータ A メックの自走スイッチが ON しません。		連続テスト販売（チェック販売）を行ってください。
冷 却 ・ 加 熱 機 構 に 関 する 異 常	250	冷却／加温設定異常 庫内の冷却／加温組合せモードで禁止のパターンが設定されています。		冷却／加温組合せパターンの確認をして冷却／加温切替えスイッチを正しい組合せに再設定してください。
	251	温度サーミスタ 1 異常 (左庫内)	庫内温度サーミスタがショート／オープンしているか、または庫内温度が異常 (80℃以上または -20℃以下) になっています。	左庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	252	温度サーミスタ 2 異常 (左から 2 番目の庫内)		左から 2 番目の庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	253	温度サーミスタ 3 異常 (左から 3 番目の庫内)		左から 3 番目の庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	254	温度サーミスタ 4 異常 (左から 4 番目の庫内)		左から 4 番目の庫内の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	255	温度サーミスタ 5 異常 (左蒸発器)	蒸発器の温度サーミスタがショートしている、または蒸発器部の温度が異常 (80℃以上) になっています。	左蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その庫内の温度サーミスタを交換してください。
	256	温度サーミスタ 6 異常 (左から 2 番目の蒸発器)		左から 2 番目の蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その蒸発器部の温度サーミスタを交換してください。
	257	温度サーミスタ 7 異常 (左から 3 番目の蒸発器)		左から 3 番目の蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その蒸発器部の温度サーミスタを交換してください。
	258	温度サーミスタ 8 異常 (左から 4 番目の蒸発器)		左から 4 番目の蒸発器部の温度を確認し、異常がある場合は、その蒸発器部の温度サーミスタを交換してください。
	808	温度サーミスタ 17 異常 (外気温) 外気温度サーミスタがショート／オープンしています。		外気温度サーミスタを交換してください。

故障コード一覧表

	故障コード	故障内容	対処方法
冷却・加熱機構に関する異常	1266	庫内1エバ温度異常	・左から1番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から1番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	1267	庫内2エバ温度異常	・左から2番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から2番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	1268	庫内3エバ温度異常	・左から3番目の蒸発器部の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。 ・左から3番目の庫内の温度サーミスタを確認し、異常がある場合は交換してください。
	3528	冷却庫内高温異常	・庫内ファンモータを確認してください。 ・凝縮器用ファンモータを確認してください。 ・電磁弁を確認してください。 ・庫内の各温度サーミスタの取り付けを点検してください。 ・冷却ユニットを交換してください。
	3576	吸入温度センサー異常	・吸入温度サーミスタの接続を確認してください。 ・吸入温度サーミスタを交換してください。

温度サーミスタ（庫内温度サーミスタ，外気温度サーミスタ，蒸発器サーミスタ） 補助ガスクーラ出口温度サーミスタ※			
温度	抵抗値	温度	抵抗値
0℃	17.0 kΩ	40℃	2.6 kΩ
10℃	10.1 kΩ	50℃	1.8 kΩ
20℃	6.2 kΩ	60℃	1.2 kΩ
30℃	4.0 kΩ		

富士電機株式会社

製品に関するお問い合わせ、サービス・修理のご用命は
 全国共通ナビ・ダイヤル **Tel 0570-056022** へご連絡ください。
 (コールはフジ)

全国販売拠点網

北海道支社	〒060-0031	北海道札幌市中央区北一条東二丁目 5-2 (札幌泉第一ビル)	Tel 011-804-5060
東北支社	〒980-0811	宮城県仙台市青葉区一番町一丁目 9-1 (仙台トラストタワー)	Tel 022-716-5851
北陸支社(金沢支店)	〒921-8001	石川県金沢市高島三丁目 192番	Tel 076-291-8830
中部支社	〒460-0007	愛知県名古屋市中区新栄一丁目 5-8 (広小路アケアプレイス)	Tel 052-746-1050
関西支社	〒530-0011	大阪府大阪市北区大深町 3-1 (グランフロント大阪 タワーB)	Tel 06-7166-7316
中国支社	〒730-0022	広島県広島市中区銀山町 14-18	Tel 082-545-2138
四国支社	〒760-0017	香川県高松市番町 1-6-8 (高松興銀ビル)	Tel 087-851-9102
九州支社	〒812-0025	福岡県福岡市博多区店屋町 5-18 (博多NSビル)	Tel 092-283-6111
沖縄支社	〒900-0004	沖縄県那覇市銘苅 2-4-51 (シェイ・ツェビル)	Tel 098-867-3999
営業統括部	〒141-0032	東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー	〔営業第一部〕 Tel 03-5435-7080

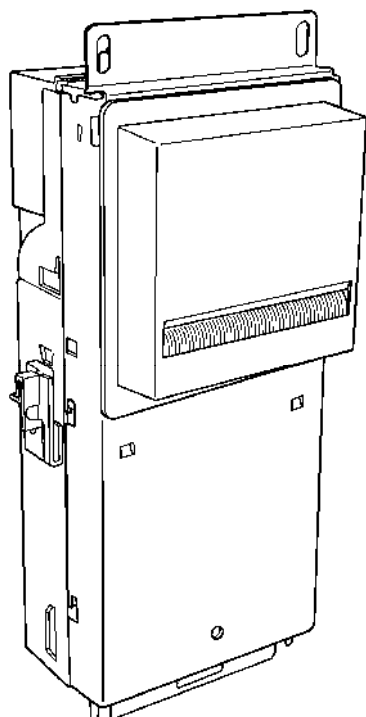
部品センター 〒510-8631 三重県四日市市富士町 1-27 (ナビ・ダイヤル) Tel 0120-992-513

’20. 04. 01現在

富士電機ビルバリデータ

形名 BVEシリーズ

このたびは弊社自動販売機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用になる前によくお読みいただき、正しい製品知識と取扱いにより末永くご愛用いただきます
ようお願い申し上げます。



も く じ

- 1. 特長とはたらき..... 1
- 2. 一般仕様..... 1
- 3. 紙幣識別装置の外観と各部の名称..... 2
- 4. お取扱紙幣の条件..... 2
- 5. 金庫内の紙幣の取出し方法..... 3
- 6. 故障時の取扱いかた..... 3

--- 本書中の記号について ---



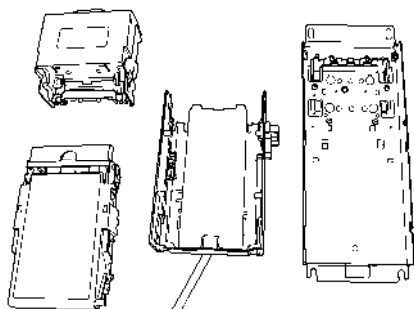
：ご注意事項 紙幣識別装置のはたらきに影響
する重要事項です。必ずお読み
ください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

1. 特長とはたらき

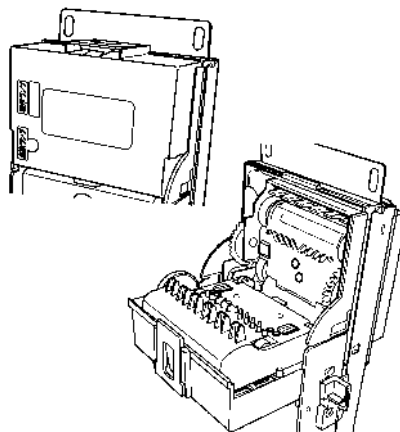
特長

★着脱が簡単なユニット構造



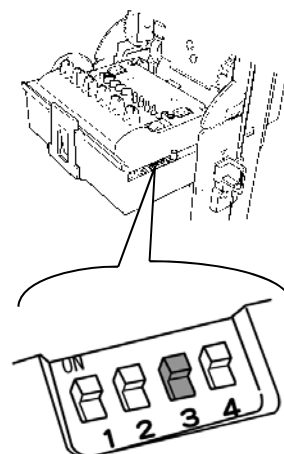
識別ユニット，スタッカユニット
プッシャユニット，筐体の4つの
ユニットが容易に分離できます。

★予防保全機能の向上



点検ランプ・点検スイッチにより
予防保全機能がアップしました。

★抑止機能

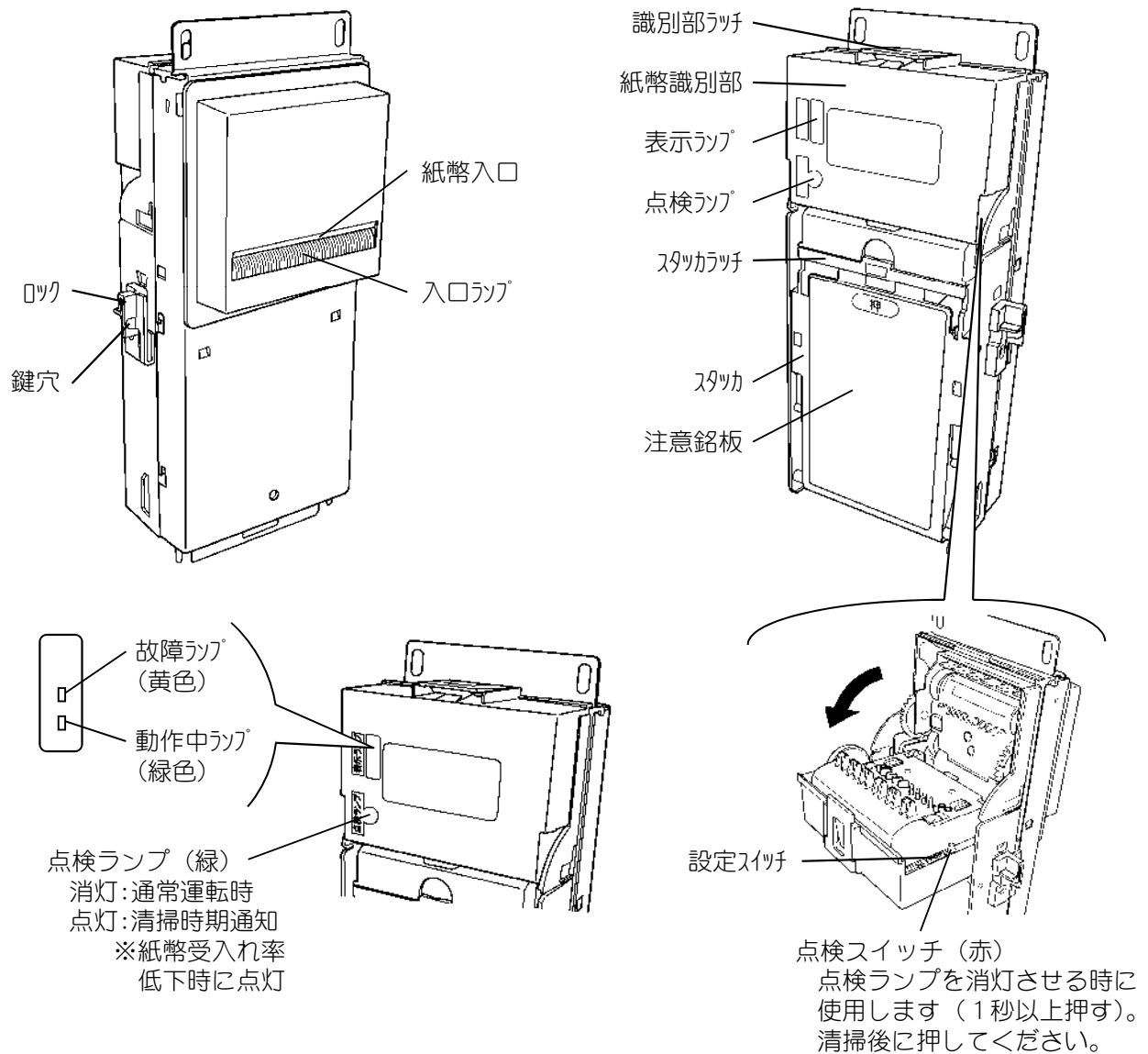


真券以外が連続して5回投入・排
除されると，自動で識別精度をア
ップします。

2. 一般仕様

形 名		B V E 2 1 S L F 4 ビルパリ シーズ名 識別紙幣 2:千円/二千円紙幣 収容枚数 1:100枚 2:200枚 3:300枚 インタフェイス S:シリアル ガイドグチ形状 4:4型 8:8型(逆取付) F:フリップ付 仕様 L:簡易口ツ
1	紙 幣 挿 入 口	1か所
2	紙 幣 挿 入 方 向	長手方向
3	識 別 紙 幣	千円紙幣，二千円紙幣
4	周 囲 温 度	温度－15℃～60℃，30～90%RH（結露なきこと）
5	モ ニ タ ー 機 能	受付率表示（緑色），故障表示（黄色）
6	受 入 可 能 表 示 機 能	有（ガイドグチ，緑色LED）
7	エスクロ機能	1)エスクロ方式 ローラーよる現物エスクロ
		2)エスクロ枚数 最大1枚（千円紙幣または二千円紙幣）
		3)返 却 時 間 1.4秒（標準）
8	スタッカ機能	1)紙幣収納方式 整列積（千円，二千円混合スタック）
		2)紙幣収納枚数 100枚以上（再鑑済流通券）
		3)紙幣取出方式 一括取出し（スタッカ取外し可）
		4)紙幣満杯検知 満杯スイッチ
9	搬 送 方 式	DCモーターによる自動搬送

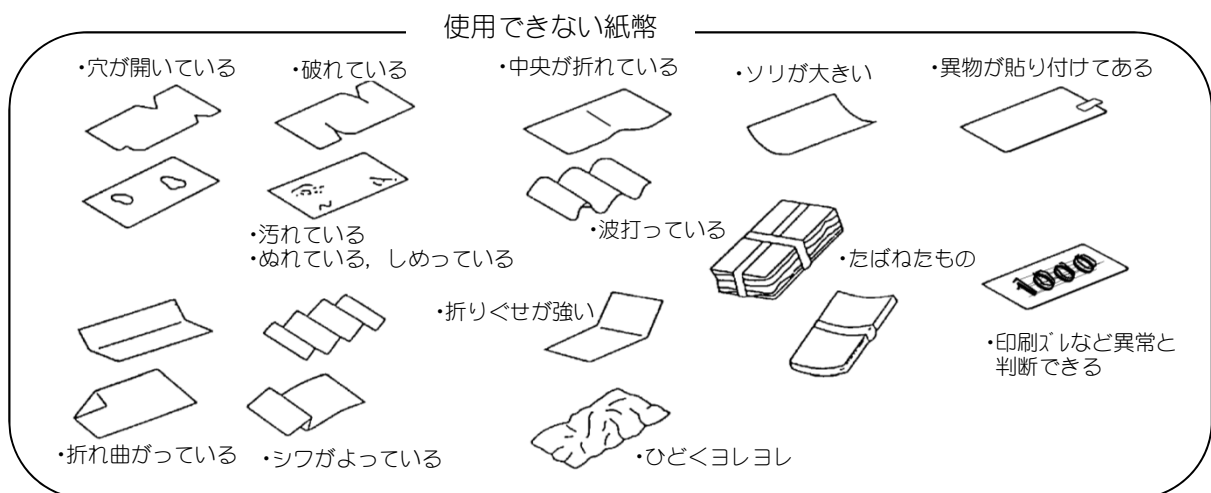
3. 紙幣識別装置の外観と各部の名称



4. お取扱紙幣の条件

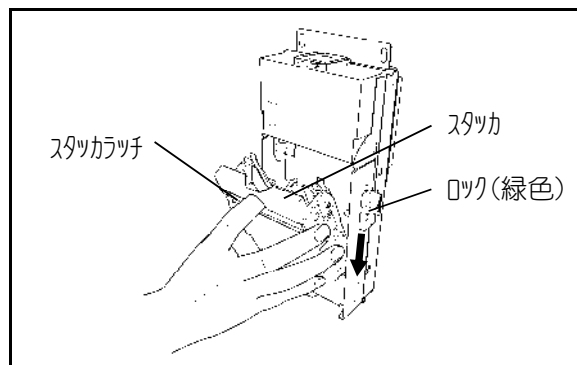
ひどい汚れ、折れ、破れのあるものは金庫に入れず、別に管理してください。

⚠ つぎの紙幣を入れると、紙幣つまりの原因になります。入れないでください。

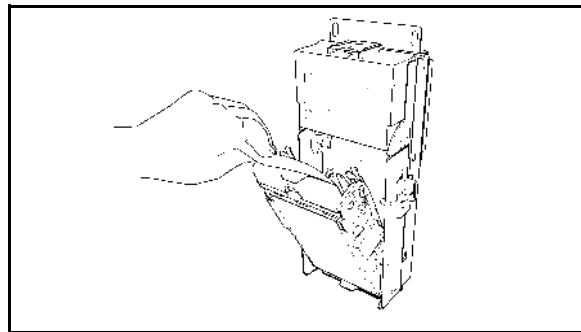


5. 金庫内の紙幣の取出し方法

- ① ロックを下に移動します。（ロック付機のみ）
- ② スタッカラッチを下に押さえながらスタッカを手前に倒します。

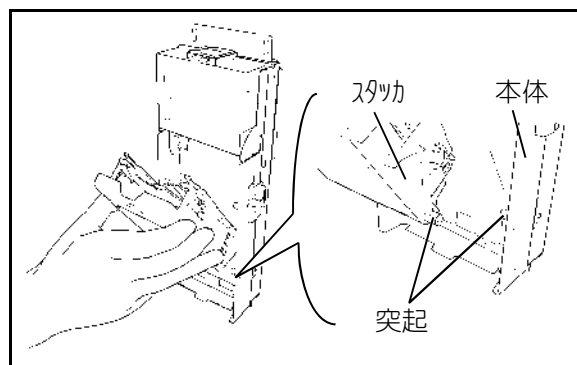


- ③ 開ききった状態にし、スタッカ内の紙幣を取り出します。

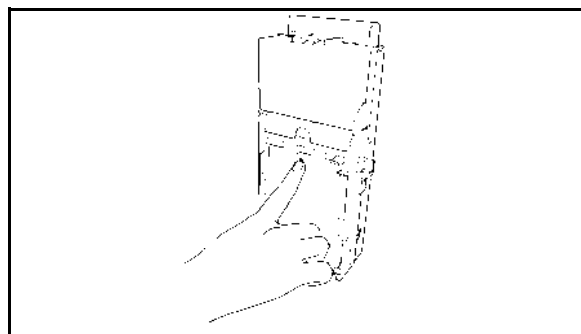



- ④ スタッカを取り外して紙幣を回収することもできます。スタッカを取り外すときは、スタッカを持ち上げ、スタッカの突起が本体の突起より上に移動したときに、手前に引き出します。

取り付けは、取り外しの逆手順で行います。




- ⑤ スタッカの背（「押」の表示がある所）を『カチッ』と音がし、スタッカラッチがかかるまで押します。



 セットが不十分では紙幣を受入れできません。

6. 故障時の取扱いかた

 この紙幣識別装置は、自動販売機本体のコントロールと関連がありますので、おれを受けなくなったときは、サービスマンにご連絡ください。

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。



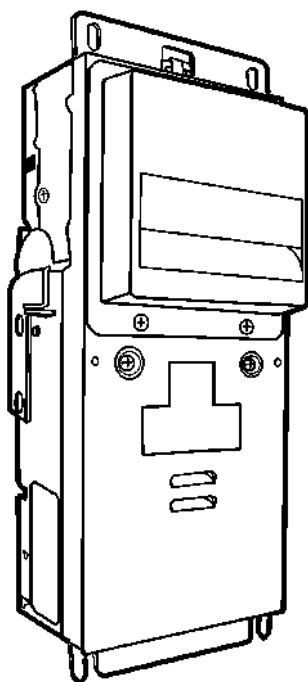
お願い

紙幣識別装置の所定の場所以外への流出は、偽造紙幣犯罪の主要な原因となります。機器の買い換えの際は、ユーザー各位にて破碎等の方法により紙幣識別機能を消滅させ、廃棄していただきますようお願い致します。

富士電機ビルバリデータ

形名 NBXシリーズ

このたびは弊社自動販売機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用になる前によくお読みいただき、正しい製品知識と取扱いにより末永くご愛用いただきます
ようお願い申し上げます。



も く じ

1. 一般仕様..... 1
2. 紙幣識別装置の外観と各部の名称..... 1
3. お取扱紙幣の条件..... 2
4. 金庫内のお札の取出し方法..... 2
5. 故障時の取扱い方..... 2

本書中の記号について

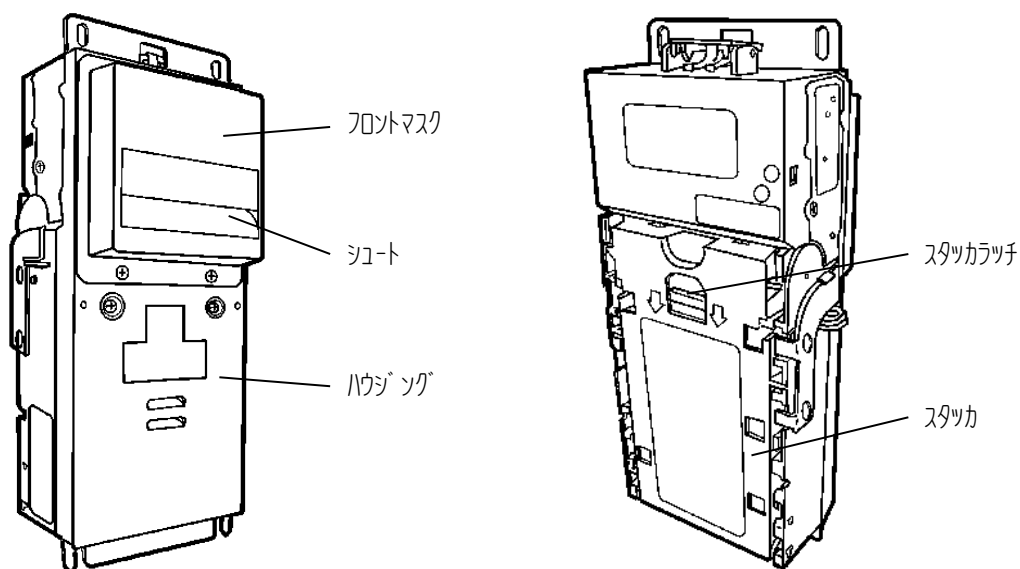


：ご注意事項 ビルバリデータのはたらきに影
響する重要事項です。必ずお読
みください。

1. 一般仕様


項	目	NBXシリーズ
1	紙幣挿入口	1カ所
2	紙幣挿入方向	長手4方向
3	識別紙幣	1000円紙幣, 2000円紙幣
4	識別時間	約1秒(真券と判定されるまで)
5	モニター機能	紙幣回収中/異常検知中(赤色点灯), 識別センサー汚れ検知(赤色点滅), 点検通知(緑色点灯), 正常時消灯
6	識別方式	光方式, 磁気方式併用
7	引き抜き防止機能	有(シャッター方式)
8	紙幣一時保留機能	1) エスクロ: ベルトによる現物エスクロ
		2) 紙幣一時保留枚数: 最大1枚
		3) 返却時間: 1秒(標準)
9	スタツカ機能	1) 紙幣収納方式: 整列積
		2) 紙幣収納枚数: 約95枚(1000円紙幣), 約90枚(2000円紙幣)
		3) 紙幣取出方式: 一括取出し

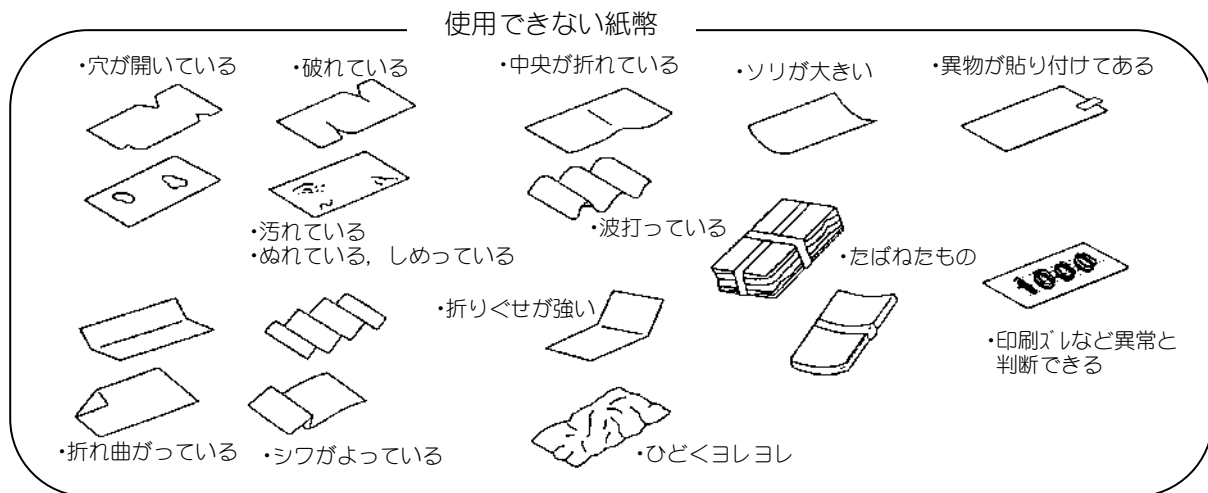
2. 紙幣識別装置の外観と各部の名称



3. お取扱紙幣の条件

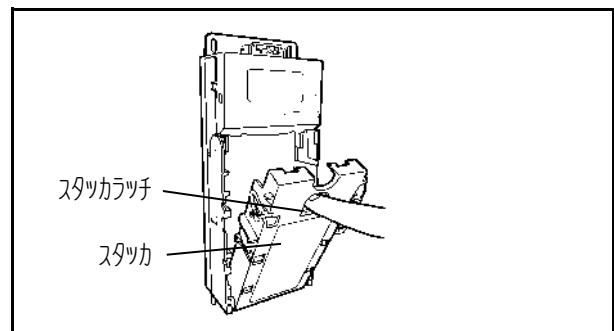
ひどい汚れ、折れ、破れのあるものは金庫に入れず、別に管理してください。

 つぎの紙幣を入れると、紙幣つまりの原因になります。入れないでください。

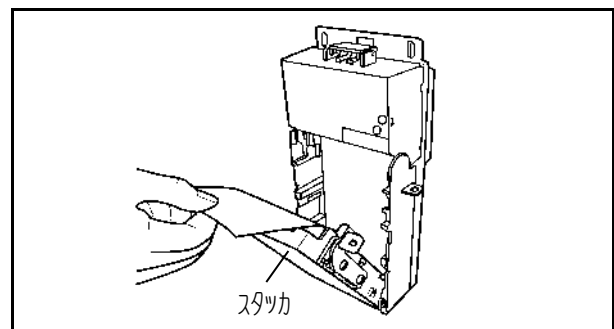


4. 金庫内のお札の取出し方法


- ① スタッカラッチを押し下げて、スタッカを引き出してください。



- ② お札を抜き取ってください。
スタッカを戻すときは、パチーンと音がするところまで押し込んでください。



5. 故障時の取扱い

 この紙幣識別装置は、自動販売機本体のコントロールと関連がありますので、お札を受付けなくなったときは、サービスマンにご連絡ください。

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。



お願い

紙幣識別装置の所定の場所以外への流出は、偽造紙幣犯罪の主要な原因となります。機器の買い換えの際は、ユーザー各位にて破碎等の方法により紙幣識別機能を消滅させ、廃棄していただきますようお願い致します。